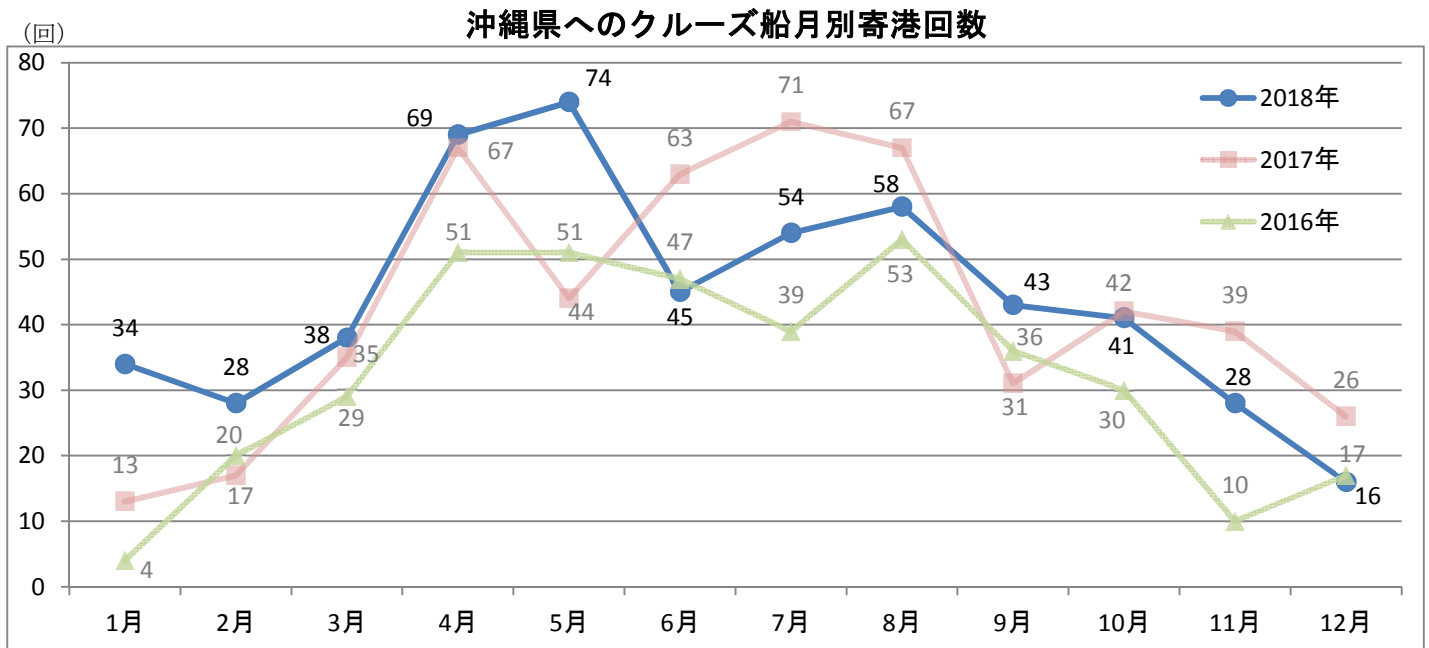


# OKINAWA Cruise Report (1月号)

○2018年クルーズ船寄港回数（平成30年12月末までの速報値）

2018年12月のクルーズ船寄港回数は、16回（前年同期比 10回減）  
 2018年12月までのクルーズ船寄港回数は、528回（前年同期比 13回増）



2017・2018年 沖縄県内へのクルーズ船寄港回数

単位：回

月	2017			2018			前年同期比		
	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計
1	13	0	13	33	1	34	2.54	-	2.62
2	17	0	17	28	0	28	1.65	-	1.65
3	35	0	35	38	0	38	1.09	-	1.09
4	51	16	67	55	14	69	1.08	0.88	1.03
5	44	0	44	74	0	74	1.68	-	1.68
6	63	0	63	45	0	45	0.71	-	0.71
7	70	1	71	54	0	54	0.77	-	0.76
8	67	0	67	58	0	58	0.87	-	0.87
9	31	0	31	43	0	43	1.39	-	1.39
10	42	0	42	41	0	41	0.98	-	0.98
11	38	1	39	27	1	28	0.71	1.00	0.72
12	23	3	26	14	2	16	0.61	-	0.62
計	494	21	515	510	18	528	1.03	0.86	1.03

出典：港湾管理者からの聞き取りに基づき沖縄総合事務局が作成

各港における12月末までの寄港回数（計：528回）

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
那覇	243	平良	143	座間味	1	本部	2	儀間漁港	1
石垣	107	中城	28	船浮	1	南大東	1	祖納	1



・国土交通省は1月18日、2018年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港回数に関する速報値を公表しました。それによると、2018年（1月～12月）の訪日クルーズ旅客数は前年比3.3%減の244.6万人、クルーズ船の寄港回数は前年比5.9%増の2,928回となり、寄港回数は過去最多を記録しました。内訳として、外国船社が前年比5.0%減少の1,913回となる一方、日本船社の寄港回数は前年比35.2%増の1,015回と大幅に増加しました。

港別では、第1位：博多港279回、第2位：那覇港243回、第3位：長崎港220回となりました。その他、沖縄県内からは平良港が第5位の143回、石垣港が第9位の107回となり、前年同様3港がトップテンにランクインしています。

※参照：2018年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港回数（速報値）

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port04\\_hh\\_000238.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port04_hh_000238.html)

2018年クルーズ船の寄港回数上位10港【速報値】

外国船社			日本船社			外国船社及び日本船社		
順位	港名	回数	順位	港名	回数	順位	港名	回数
1	博多	263	1	ベラビスタリーナ 【広島県】	122	1	博多	279
2	那覇	236	2	横浜	98	2	那覇	243
3	長崎	215	3	神戸	69	3	長崎	220
4	平良	142	4	宮島	62	4	横浜	168
5	石垣	105	5	福山	48	5	平良	143
	佐世保	105	6	大三島	37	6	神戸	135
7	鹿児島	96	7	倉橋漁港	29	7	ベラビスタリーナ 【広島県】	122
8	横浜	70		名古屋	29	8	佐世保	108
9	神戸	66	9	金風呂漁港	25	9	石垣	107
10	広島	44	10	直島	24	10	鹿児島	100

また、沖縄総合事務局も同日付けで沖縄県内に寄港したクルーズ船の実績及び2019年の見込みを公表しました。沖縄県内へのクルーズ船の寄港回数は前年の515回に対し、13回増（2.5%増）の528回と過去最高を記録し、都道府県別の寄港回数では3年連続で全国第1位となる見込みです。

【問い合わせ先】 内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

担当者：與儀、高島、宮里 TEL：098-866-1906、FAX：098-861-9916